



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部副本部長 (氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	31,393	4.3	4,751	9.6	5,448	14.8	3,888	14.2
2019年3月期	32,803	2.1	5,255	0.6	6,397	9.8	4,534	18.4

(注) 包括利益 2020年3月期 3,277百万円 (21.2%) 2019年3月期 4,159百万円 (9.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	1,201.59		7.2	8.5	15.1
2019年3月期	1,401.19		8.9	10.4	16.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 167百万円 2019年3月期 109百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	64,706	55,010	84.8	16,951.76
2019年3月期	63,070	52,867	83.6	16,291.48

(参考) 自己資本 2020年3月期 54,855百万円 2019年3月期 52,721百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,923	2,599	1,133	37,137
2019年3月期	4,608	1,261	973	36,814

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		350.00	350.00	1,132	25.0	2.2
2020年3月期		0.00		300.00	300.00	970	25.0	1.8
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想は、現時点では未定としております。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階では合理的な算定を行うことが困難なことから未定といたしました。今後、連結業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	4,512,651 株	2019年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,276,660 株	2019年3月期	1,276,540 株
期中平均株式数	2020年3月期	3,236,064 株	2019年3月期	3,236,228 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	30,919	4.4	4,723	9.7	5,288	16.1	3,744	15.9
2019年3月期	32,342	2.2	5,228	0.2	6,306	10.9	4,453	19.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	1,157.26	
2019年3月期	1,376.07	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	63,214		53,574		84.8		16,555.95	
2019年3月期	61,804		51,610		83.5		15,948.20	

(参考) 自己資本 2020年3月期 53,574百万円 2019年3月期 51,610百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦の長期化、中国の景気減速などに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、先行き不透明な状況が一段と高まって推移しております。

当社グループの重要な販売分野である繊維工業関連におきましては、国内では、顧客の生産拠点の海外移転、不採算製品の生産中止及び体力強化のための事業構造改革の影響による販売量の減少等もあり、依然として厳しい状態が続いております。一方、海外では、中国国内での設備投資は減速し、各業界内での企業淘汰やベトナム等の中国以外への海外移転等の兆しも見え始めています。

非繊維工業分野におきましては、国内自動車関連では新車販売が軽自動車に加え中・大型車においても堅調に推移しましたが、建築関連は都心の再開発は続くものの需要には陰りが出ております。海外自動車関連では中国、インドでの新車販売が急減速し、米国も低迷が続いております。

このような状況下、当社グループでは高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した製品の早期開発に注力してまいりました。また、国内においては、顧客の生産拠点の海外移転への対応を柔軟に行い、海外においては、主力の中国市場以外での拡販にも注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高31,393百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益4,751百万円(前年同期比9.6%減)、経常利益5,448百万円(前年同期比14.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3,888百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

日本における当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は30,694百万円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益(営業利益)は4,723百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が縮小傾向の中、新規に開発した洗浄剤が貢献しました。海外向けでは、繊維工業分野は堅調でしたが、非繊維工業分野の販売不振もあり、外部顧客に対する売上高は3,173百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内ではユニフォームを含む衣料分野の生産に陰りが見え始めました。産業資材分野におきましては顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野では自動車分野が堅調に推移しました。海外向けでは産業用繊維分野が好調でしたが、外部顧客に対する売上高は17,965百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売は前年同期よりやや減少しましたが、シャンプー、洗剤向けの界面活性剤と、海外向けの化合織油剤が好調であったため、外部顧客に対する売上高は959百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産は引き続き低迷していますが、新規拡販により前年同期を上回る結果となりました。非繊維工業関連では、自動車関連をはじめとする海外需要が減速してきており、前年同期を下回る結果となりました。設備投資関連資材は、半導体市場の減速により前年同期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は8,595百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

#### ② インドネシア

インドネシアにおける当連結会計年度の外部顧客に対する売上高は698百万円(前年同期比4.5%減)、セグメント利益(営業利益)は23百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、製織油剤関係の販売量が前年同期に比べ増加しましたが、精練剤分野の販売量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は385百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、中国からの安価な製品が増加し、国内製織生産量が減少したため、糊剤使用料が減少しています。輸出量は順調に前年同期を上回っていますが、国内の販売減少をカバーするまでに

は至っていません。その結果、外部顧客に対する売上高は301百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高はそれぞれ8百万円（前年同期比45.2%増）及び2百万円（前年同期比55.3%減）となりました。

## （2）当期の財政状態の概況

### （資産）

当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、64,706百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.05%減少し、49,666百万円となりました。これは、有価証券が3,851百万円増加したものの、現金及び預金が3,528百万円、受取手形及び売掛金が743百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.4%増加し、15,039百万円となりました。これは、投資有価証券が795百万円減少したものの、建設仮勘定が1,631百万円増加したことなどによるものです。

### （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.2%減少し、8,518百万円となりました。これは、買掛金が322百万円、未払法人税等が294百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、1,178百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が69百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、9,696百万円となりました。

### （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、55,010百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が646百万円減少したものの、利益剰余金が2,755百万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末の83.6%から84.8%となりました。

期末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は、前連結会計年度末の16,291円48銭から16,951円76銭となりました。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、323百万円増加し、当連結会計年度末には、37,137百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは3,923百万円の増加（前連結会計年度は4,608百万円の増加）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益5,459百万円、売上債権の減少額746百万円、減価償却費654百万円、利息及び配当金の受取額214百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,863百万円、仕入債務の減少額325百万円、たな卸資産の増加額232百万円、為替差益224百万円であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは2,599百万円の減少（前連結会計年度は1,261百万円の減少）となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入1,020百万円、投資有価証券の売却による収入329百万円、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2,729百万円、定期預金の預入による支出1,020百万円、投資有価証券の取得による支出197百万円であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1,133百万円の減少（前連結会計年度は973百万円の減少）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額1,132百万円であります。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各国政府による非常事態宣言や各種規制等の措置が行われる中、世界全体で厳しい経済状況が続くと予想されます。日本経済においても、感染症の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況等を踏まえ、現段階では、業績に与える影響に未確定要素が多いことから、次期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。なお、当該業績予想につきましては、算定が可能となった段階で速やかに開示する予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を適用することとしております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,617	33,089
受取手形及び売掛金	8,472	7,729
電子記録債権	169	171
有価証券	1	3,852
商品及び製品	2,032	2,270
仕掛品	496	527
原材料及び貯蔵品	1,066	1,035
その他	834	993
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	49,689	49,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,204	7,675
減価償却累計額	△5,256	△5,424
建物及び構築物（純額）	1,947	2,251
機械装置及び運搬具	12,076	12,532
減価償却累計額	△10,372	△10,588
機械装置及び運搬具（純額）	1,703	1,943
土地	529	529
建設仮勘定	898	2,530
その他	1,441	1,465
減価償却累計額	△1,312	△1,311
その他（純額）	128	153
有形固定資産合計	5,208	7,409
無形固定資産		
その他	34	31
無形固定資産合計	34	31
投資その他の資産		
投資有価証券	7,113	6,317
繰延税金資産	-	287
その他	1,032	1,000
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	8,137	7,598
固定資産合計	13,380	15,039
資産合計	63,070	64,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,224	5,902
未払法人税等	1,001	707
賞与引当金	296	311
その他	1,555	1,596
流動負債合計	9,078	8,518
固定負債		
退職給付に係る負債	933	1,002
資産除去債務	107	109
繰延税金負債	15	-
その他	67	66
固定負債合計	1,124	1,178
負債合計	10,203	9,696
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	46,310	49,066
自己株式	△7,320	△7,321
株主資本合計	51,598	54,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296	650
為替換算調整勘定	△167	△154
退職給付に係る調整累計額	△6	6
その他の包括利益累計額合計	1,122	502
非支配株主持分	146	154
純資産合計	52,867	55,010
負債純資産合計	63,070	64,706

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	32,803	31,393
売上原価	23,625	22,775
売上総利益	9,177	8,618
販売費及び一般管理費	3,922	3,867
営業利益	5,255	4,751
営業外収益		
受取利息	80	64
受取配当金	105	114
持分法による投資利益	109	167
為替差益	741	224
受取賃貸料	44	44
その他	79	110
営業外収益合計	1,160	725
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	9	6
支払手数料	3	3
損害賠償金	2	13
その他	3	3
営業外費用合計	18	28
経常利益	6,397	5,448
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	2	13
有価証券売却益	13	-
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	19	-
特別利益合計	35	15
特別損失		
固定資産除却損	20	3
特別損失合計	20	3
税金等調整前当期純利益	6,411	5,459
法人税、住民税及び事業税	1,798	1,579
法人税等調整額	75	△12
法人税等合計	1,873	1,566
当期純利益	4,537	3,893
非支配株主に帰属する当期純利益	3	4
親会社株主に帰属する当期純利益	4,534	3,888

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,537	3,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△342	△646
為替換算調整勘定	△36	10
退職給付に係る調整額	0	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	12
その他の包括利益合計	△378	△615
包括利益	4,159	3,277
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,169	3,269
非支配株主に係る包括利益	△9	8

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,519	42,747	△7,317	48,038
当期変動額					
剰余金の配当			△970		△970
親会社株主に帰属する当期純利益			4,534		4,534
自己株式の取得				△2	△2
その他			△0		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	3,563	△2	3,560
当期末残高	6,090	6,518	46,310	△7,320	51,598

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,639	△115	△38	1,485	153	49,677
当期変動額						
剰余金の配当						△970
親会社株主に帰属する当期純利益						4,534
自己株式の取得						△2
その他						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△342	△52	31	△363	△7	△370
当期変動額合計	△342	△52	31	△363	△7	3,189
当期末残高	1,296	△167	△6	1,122	146	52,867

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,090	6,518	46,310	△7,320	51,598
当期変動額					
剰余金の配当			△1,132		△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益			3,888		3,888
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	2,755	△1	2,754
当期末残高	6,090	6,518	49,066	△7,321	54,353

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,296	△167	△6	1,122	146	52,867
当期変動額						
剰余金の配当						△1,132
親会社株主に帰属する当期純利益						3,888
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△646	13	12	△619	8	△611
当期変動額合計	△646	13	12	△619	8	2,143
当期末残高	650	△154	6	502	154	55,010

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,411	5,459
減価償却費	610	654
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△186	△178
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△718	△224
持分法による投資損益 (△は益)	△111	△171
売上債権の増減額 (△は増加)	181	746
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2	△232
仕入債務の増減額 (△は減少)	△254	△325
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	78
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△288	-
固定資産除売却損益 (△は益)	20	2
その他の営業外損益 (△は益)	10	13
未収還付法人税等の増減額 (△は増加)	0	-
未収消費税等の増減額 (△は増加)	-	△134
未払消費税等の増減額 (△は減少)	68	△46
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9	△23
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	215	△47
小計	5,990	5,572
利息及び配当金の受取額	223	214
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,605	△1,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,608	3,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,036	△2,729
有形固定資産の売却による収入	0	4
投資有価証券の取得による支出	△215	△197
投資有価証券の売却による収入	18	329
投資有価証券の償還による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△15	△5
定期預金の預入による支出	△1,020	△1,020
定期預金の払戻による収入	1,020	1,020
保険積立金の積立による支出	△85	△51
保険積立金の払戻による収入	-	42
保険積立金の解約による収入	68	6
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,261	△2,599
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△970	△1,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△973	△1,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	939	132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,313	323
現金及び現金同等物の期首残高	33,500	36,814
現金及び現金同等物の期末残高	36,814	37,137

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に界面活性剤を生産・販売しており、国内においては当社が、インドネシアにおいてはマツモトユシ・インドネシアがそれぞれ独立した経営単位として各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、界面活性剤のほか、その他の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	32,071	731	32,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	271	22	294
計	32,342	754	33,097
セグメント利益	5,228	21	5,250
セグメント資産	61,804	589	62,393
セグメント負債	10,194	173	10,367
その他の項目			
減価償却費	605	4	610
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,247	0	1,248

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	30,694	698	31,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	225	20	245
計	30,919	719	31,638
セグメント利益	4,723	23	4,747
セグメント資産	63,214	603	63,818
セグメント負債	9,639	164	9,803
その他の項目			
減価償却費	652	2	654
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,851	6	2,858

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	33,097	31,638
セグメント間取引消去	△294	△245
連結財務諸表の売上高	32,803	31,393

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,250	4,747
棚卸資産の調整額	4	3
連結財務諸表の営業利益	5,255	4,751

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	62,393	63,818
セグメント間取引消去	△154	△104
棚卸資産の調整額	△6	△6
その他の調整額	838	999
連結財務諸表の資産合計	63,070	64,706

(単位：百万円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,367	9,803
セグメント間取引消去	△154	△104
その他の調整額	△9	△2
連結財務諸表の負債合計	10,203	9,696

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	610	654	—	—	610	654
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,248	2,858	—	—	1,248	2,858

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	23,275	8,847	680	32,803

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
14,767	15,495	2,539	32,803

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	7,498	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,900	日本

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	高分子・無機製品	その他	合計
外部顧客への売上高	22,496	8,424	472	31,393

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他の地域	合計
14,215	15,075	2,102	31,393

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
丸紅ケミックス株式会社	7,319	日本
日本クエーカー・ケミカル株式会社	4,600	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	16,291.48円	16,951.76円
1株当たり当期純利益金額	1,401.19円	1,201.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,534	3,888
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,534	3,888
普通株式の期中平均株式数(株)	3,236,228	3,236,064

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	52,867	55,010
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
(うち非支配株主持分)	(146)	(154)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	52,721	54,855
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,236,111	3,235,991

(重要な後発事象)

該当事項はありません。